

木の芽だ 桜だ 丘の上への園歌より…

丘のうえ

第144号

令和5年10月13日発行

発行・編集/東遠学園組合

ホームページ URL : <http://toengakuen.jp/>

インスタ ID : touengakuen



[児童部]20名、短期入所5名 [青年部]10名、短期入所7名、生活介護20名

[東遠地区生活支援センター] 93名(放課後デイサービス・レスパイト・ホームヘルプ)

[こども発達センターめばえ]48名(毎日通園:知的20名・重心児12名、並行通園:8名、親子通園8名)

[こども発達センターみなみめばえ]48名(毎日通園:知的26名・重心児6名、並行通園:8名、親子通園8名)

[こども発達センターひがしめばえ]16名(毎日通園:知的)

【人数は定員:令和5年4月1日現在 (東遠地区生活支援センターは、登録者数)】



～地域とのふれあいを通して～
空が澄み、清々しい秋を感じる頃
となりました。

東遠学園では、9月9日(土)ロータリーふれあい広場が開催されました。この行事は掛川ロータリークラブさんが地域における社会奉仕活動の一環として学園の利用者と一緒にゲームや飲食を共に楽しむふれあいの場として実施しています。コロナ禍で中止されしていましたが、4年ぶりに、再開され、今回で25回目となりました。今年度から学園敷地内で行事になり、新しい形での実施でした。まだまだ暑さが残る中でしたが、振る舞われたカレー・焼き鳥・かき氷などに利用者さんも笑顔があふれました。

コロナ禍で中止されていた行事が徐々に再開され、地域の皆様との関わりも少しずつ戻ってきています。今後も地域との関わりを通して、東遠学園を知って頂く機会となると良いと思っています。

◆東遠学園児童部・青年部における現状について

障害児入所施設及び障害者支援施設は、入所により利用者さんの生活を支援する施設としての役割や地域移行を支援することが求められています。加えて、施設の強みやノウハウを活かし、地域生活を支える機能を担う必要性が高まっています。

◆児童部の支援

(福祉型障害児入所施設)

児童部は、小学部2年生から高等部3年生の14名と、移行

高等部3年生の14名と、移行先の待機をしながら体験をして生活介護で活動をしている18歳を超えた利用者1名の男子9名、女子6名、現員15名が3棟に分かれて小規模のグループで生活をしています。

興味も発達段階も、家庭状況も入所経緯などもすべて異なる子ども達の集団です。ねがいをくみ取つて、安心できる人との関わりを深め、一緒に生活をしながら自分を大事にすることの大切さを培っています。

日中はスクールバス利用や自

東遠学園児童部・東遠学園青年部

転車(自主通学)、送迎で各学校や事業所に通学通所し、帰園後は宿題をしたり、おやつを食べたり、工作をするなど思い思いの過ごし方をしています。

最近は自転車散歩が人気で、

学園の坂下のサイクリングを楽しむ児童がいます。休日のグループ活動や職員と一対一の個別活動に分かれて小規模のグループで生活をしています。

令和6年3月には高等部3年生3名が卒業となります。実習等を通して卒業後の進路先について保護者や学校、関係機関の方と検討しているところです。

◆青年部の支援

(障害者支援施設)

青年部は施設入所支援10名と短期入所の継続利用の2名が同じ空間で過ごしています。生活介護は令和5年4月に新たに卒業生1名が加わり、22名で活動しています。毎月3回ほど

地域のボランティアのみなさんが来園してくださり、お花やお茶、音楽演奏などを一緒に楽しんでいます。

二次的な行動障害を抱える利用者さんもいて、安心安全に生活できる環境づくりをしていますが。年齢が上がることで、持病の悪化や進行で健康が心配となる方もいます。意思決定支援に基づき、個別のニーズに合わせてより豊かな生活となるよう支援をしています。

令和6年3月には高等部3年生3名が卒業となります。実習等を通して卒業後の進路先について保護者や学校、関係機関の方と検討しているところです。

児童期に軸足を置いた役割を掲げている組合の基本計画と、施設入所者を減らしていく国の方針に即した中で、公立とともに短期入所の継続利用の2名が同じ空間で過ごしています。生活介護は令和5年4月に新たに卒業生1名が加わり、22名で活動しています。毎月3回ほど地域のボランティアのみなさんが来園してくださり、お花やお茶、音楽演奏などを一緒に楽しんでいます。

◆短期入所支援

(障害者支援施設)

児童期に軸足を置いた役割を

掲げている組合の基本計画と、施設入所者を減らしていく国の方針に即した中で、公立とともに短期入所の継続利用の2名が同じ空間で過ごしています。生活介護は令和5年4月に新たに卒業生1名が加わり、22名で活動しています。毎月3回ほど地域のボランティアのみなさんが来園してくださり、お花やお茶、音楽演奏などを一緒に楽しんでいます。

二次的な行動障害を抱える利用者さんもいて、安心安全に生活できる環境づくりをしていますが。年齢が上がることで、持病の悪化や進行で健康が心配となる方もいます。意思決定支援に基づき、個別のニーズに合わせてより豊かな生活となるよう支援をしています。

児童青年期支援課長

窪野香織





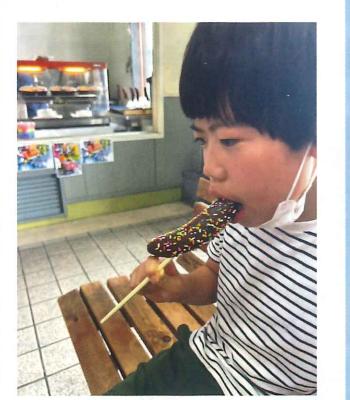
ワクワク・ドキドキの夏休み！

どこまで
いこうかな？

児童部 グループ外出☆

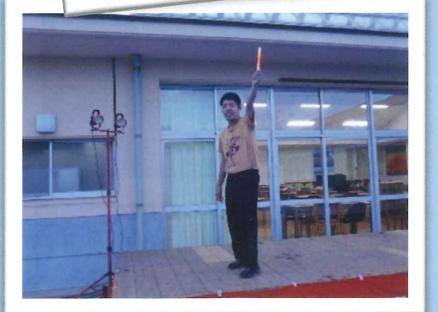
久しぶりに公共交通機関を使用してのグループ外出を開きました。やまめ平、大井川鐵道、しばちゃん牧場へ行きました。電車に乗るのが初めての子ども達ばかりで、新鮮な体験が出来ました。この経験を活かし、冬休みはもう少し距離を伸ばした外出にチャレンジする予定です。

他にも、キャンプや安養寺・和田公園プールへの外出、納涼祭など夏ならではの行事を楽しみました。



青年部 納涼祭♪

今年は児童部と青年部と一緒に納涼祭を行う事ができました！中庭でみんな集まって食べる夕ご飯はとてもおいしく、たくさんの職員と一緒に過ごせて、みんな嬉しそうでした。児童部はダンスも披露してくれたので、青年部もみんなでペンライトを持って一生懸命応援しました。夏の終わりに楽しい思い出を作ることができました！





水あそび



まずは泥や泡、色水等の感触遊びを十分楽しみ、水に慣れ親しました。本格的に暑くなってきたら、いよいよプール遊び！バタ足、ワニ歩き、顔を付けて潜ってみたりと子ども達の遊び方もダイナミックになり、笑顔がはじけます。



ウォーター
スライダー！

食育・クッキング



畑やプランターで夏野菜を育てました。収穫した野菜は、クッキングをして美味しくいただきました。



おおきなスイカ
ができたよ。



暑い日には、かき氷！ハンドルを回す手にも力が入ります。真剣な表情でガリガリガリ。シロップも選んで食べました。



虫飼育・観察

おたまじやくしがカエルに、あおむしがちようちよに、幼虫がカブトムシに…たくさんの虫たちの変身を観察し、エサやりなどの飼育する中で、学びや気付きがたくさんありました。



怖かった
けど触れたよ！

光あそび



ぴかぴかライトの光に癒されてリラックスタイム zzz

なつまつり

親子で楽しんだ夏祭り。浴衣や甚平を着て、盆踊りやゲームで遊びました。給食は、やきそば、からあげ、ポテト…と盛りだくさん。景品ももらい、大満足の子ども達でした♪



ゲームは保護者の皆さん
がお手伝いしてくれました。
ありがとうございました。

東遠学園組合見学バスツアーを開催しました！

福祉職への就職を考えている学生や、東遠学園組合ってどんなところ？と気になっている学生に、施設見学や座談会などを予定した一日見学バスツアーを実施しました。当日参加された学生はみんな真剣な表情で職員の説明に耳を傾けていました。午前中はめばえや児童部などの施設見学を行ない、午後からは若手職員との座談会を行ないました。座談会では仕事へのやりがいなど、気になっていることをざっくばらんに話していました。

今後も同様の見学会を実施し、「東遠学園組合ってこんなところだよ！」と発信していきたいと思います。

〈参加学生の事後アンケートより〉

- ・児童発達支援センターのあり方、就職してからの生活などを知ることができた。
- ・青年部が昼間にどのように活動を行っているか知ることができたし、ひがしめばえとめばえの違いを見ることができたので参加して良かった。
- ・色々な話が聞けたことに加えて職員さん同士の関係性が見てとても良い雰囲気だと感じました。

夏季研修

「利用者も職員も幸せである支援を目指して」
～あなたも（職員も利用者も）、そして私も幸せになる
コミュニケーション研修
幸せな職場で虐待やハラスメントは起こらない。～



東遠学園組合では年間を通して様々な研修が計画されています。今回は支援のスキル向上を目的とする研修が組合職員全員を対象に行われました。お招きした講師の方は、社会福祉法人あしたか太陽の丘静岡県立富士見学園施設長鶴田安弘さん。鶴田さんは自身の経験から虐待防止法の基礎的理解のみならず、職員のメンタル面やそれを担保する為の組織作りなどにも触れ「虐待防止に向けた支援とは何か？」「支援をしていく上で利用者や職員との幸せとは何か？」について分かりやすく講義をしてくださいました。各事業所に持ち帰ったらすぐに支援に生かせそうなヒントを沢山教えてくださいました。冬季に行われる研修も、今回の研修から繋がる内容になっています。今後も支援の質や職員のモチベーション向上を図れるよう研修を通して職員全員で学びを深めていきたいです。



〈事後アンケートより〉

- ・利用者への支援の見方や取り組みを変えていこう！
- ・自分自身の考え方を変えていく事で、良い人間関係を築いていく事やコミュニケーションも円滑に進めていける事を学んだ。
- ・他人に優しい言葉かけをする事によって自己肯定感が増すと言う言葉が印象に残った。

« 行事予定 »

丘のうえフェスタin東遠学園

～来て、見て、知って東遠学園～

コロナ禍により中止していた「東遠まつり」を
「丘のうえフェスタ」として、新たな内容で開催
します。

日 時 令和5年11月25日（土）

午前9時30分～12時まで（雨天決行）

会 場 東遠学園（菊川市西方）

内 容 スタンプラリー、福祉体験、近隣施設・
自治会等による出店、ゲーム大会など

その他 開会式、もち投げ、バザーは行いません。

駐車場に限りがありますのでご承知おき
ください。

【職員募集】

令和6年度新規採用職員・会計年度任用職員
を募集しています。詳しくはホームページをご確
認ください。

【冬休み】

めばえ・みなみめばえ・ひがしめばえ

12月 26日(火)～1月 5日(金)

東遠学園青年部(生活介護)

12月 28日(木)～1月 4日(木)

※予定が変更になる場合があります。

ホームページ等でご確認をお願いします。



～ 苦情解決窓口より ～

令和5年6月～令和5年9月

苦情として第三者委員にあげられたもの
はありませんでした。

東遠学園 児童部・青年部 〒439-0037 菊川市西方 4345-2 Tel:0537-35-2753 Fax:0537-35-2799
東遠地区 支援担当 〒439-0037 菊川市西方 4345-2 Tel:0537-37-3995 Fax:0537-37-3996

生活支援センター 相談窓口 Tel:0537-35-2971 Fax:0537-37-3996

こども発達センター めばえ 〒436-0016 掛川市板沢 1941-35 Tel:0537-23-2312 Fax:0537-23-0008

みなみめばえ 〒437-1611 御前崎市新野 1877-7 Tel:0537-85-1200 Fax:0537-85-1201

ひがしめばえ 〒439-0037 菊川市西方 4345-2 Tel:0537-25-7031 Fax:0537-37-3996

« 感謝 の 心 »

【寄付・寄贈】

奥宮貴志夫 様	(現 金)
ベルファーム(株) 様	(トマト・アスパラガス)
水車酒店 様	(お 茶)
花嶋幸子 様	(新 米)
掛川茶振興協会 様	(お 茶)
と・まーる 様	(プール)
甲賀歯科 様	(歯ブラシ)
(株)モリヤ	(お菓子・ジュース)
宍戸和人 様	(飾り用南瓜)

【ボランティア】

松本鉄雄 様	(演 奏)
郷援隊 様	(植木剪定他)
南風 様	(演 奏)
シャープフレンズ 様	(演 奏)
岡田美弥子 様	(ウエス作り)
大石友子 様	(ピアノ講師)
鈴木瑞枝 様・伊谷園枝 様	(お茶・お華)

【ご招待】

ロータリークラブ 様	(ふれあい広場運営)
フジオーゼックス(株)様	(納涼祭招待)

【保育補助・支援補助】

芳野様・服部様・岡本様・松尾様・北原様
柳様・鈴木様

～いつもありがとうございます～

～ 編集後記 ～

全国各地では、花火大会など、コロナ禍により
中止となっていたイベントが再開し、賑わいを取
り戻しています。

東遠学園においても、感染対策を行ったうえで
各種イベントを再開し、笑顔と活気が戻ってきま
した。

今後も東遠学園の元気をお伝えしていきます。

編集委員一同

インスタグラム
やっています！

